

平成20年4月16日

各位

わかもと製薬株式会社
インビボサイエンス株式会社

犬の糞便中のエキノコックス簡易検出キットの 販売業務に関する提携のお知らせ

わかもと製薬株式会社(東京都中央区 代表取締役社長:石井 敬志)は、2007年12月26日に製造販売承認を取得した動物用体外診断用医薬品である犬の糞便中のエキノコックス(四類人獣共通感染症)虫体由来抗原検出用キット「エキット」の販売を、財団法人実験動物中央研究所のグループ企業であるインビボサイエンス株式会社(東京都目黒区 代表取締役社長:野村龍太)に委託し、5月12日に開業獣医師向けの発売を予定しております。

本キットは、開業獣医師の手によるエキノコックス感染の迅速診断を、可能にするものです。

「エキット」は、エキノコックス虫体より分泌される特異的な抗原に対するモノクローナル抗体を用いた免疫クロマト法¹を原理とし、犬のエキノコックス感染の有無を確認できる国内初の簡易検査キットです。測定には、専用の採便容器を用い糞便を採取し、採便容器内で懸濁された便検体を用います。操作は1ステップで反応シートに滴下後30分後に目視判定します。「エキット」は特別な機器を必要とせず、簡便で短時間で結果を得られることから、人獣共通感染症であるエキノコックスの早期感染のスクリーニング検査が可能です。

<エキットの特長>

糞便を用いた院内検査が可能です
1ステップ操作、30分で目視判定できます
早期感染をスクリーニングできます

<エキットの概要>

使用目的:犬の糞便中のエキノコックス虫体由来抗原の検出

判定時間:30分

貯法 :室温保存

有効期間:製造後18ヵ月

包装単位:5回用

キット構成:[構成試薬]反応シート(5個)、採便容器(1mL×5本)、採便スティック(5本)

[付属品]正しい便のとり方(5枚)、赤色ビニール袋(提出用袋)(5枚)、名前シール(5枚)

動物用体外診断用医薬品/承認番号:農林水産省指令19動薬第2632号

1.免疫クロマト法、試験紙上に抗体を線状に分布させた部分を作り、着色粒子で標識した抗体と抗原が結合した抗原抗体複合体が試験紙上を移動する際に抗体に集中的に捕捉されることで現れる色付きのラインの有無によって定性分析する方法。

〔会社概要〕

頒布元 インビボサイエンス株式会社

本社 : 東京都目黒区東山一丁目2番7号

資本金 : 12,000 千円

代表者 : 代表取締役社長 野村 龍太

設立 : 2006 年 7 月

インビボサイエンス(株)は、財団法人実験動物中央研究所のインビボ実験医学の独自の成果を事業化するために2006年設立された。基礎医学の成果を臨床医学、医療に橋渡しすることを目標とした財団の各種の研究成果、ノウハウ、特許等の提供を受け、創薬研究に直接結びつける製品・サービスならびに感染症診断システムを開発し展開しています。

製造販売元 わかもと製薬株式会社

本社 : 東京都中央区日本橋室町1-5-3

資本金 : 33億95百万円

代表者 : 代表取締役社長 石井 敬志 (いしい たかし)

売上高 : 10,327百万円 (2007年3月期)

設立 : 昭和8年 1月

わかもと製薬は、「医薬品の研究開発、生産、供給を通じ健康で豊かな社会の創造と発展に貢献する」を経営理念とし、長年、保健薬として愛され続ける『強力わかもと』を基盤とした醗酵・培養技術の蓄積とバイオテクノロジー研究成果から、抗生物質耐性乳酸菌製剤『レベニン』、繊維素溶解酵素製剤『ウロキナーゼ注』などの各種医薬品を生み出してきました。また高齢化社会に備えていち早く眼科領域に重点を置いた研究開発を推進し、医薬用眼科用剤として1989年には白内障などの手術後の炎症を抑制する水溶性非ステロイド性抗炎症点眼剤『ジクロード点眼液』を発売し、1999年には世界で初めての熱ゲル技術を応用した持続性緑内障高眼圧治療剤『リズモン TG 点眼液』、翌年には新規アレルギー性結膜炎治療剤『ゼペリン点眼剤』を発売するなど社会に役立つ豊富な製品群を生み出しています。さらに、検査薬としては抗原抗体反応を用いた技術を応用し、ヘリコバクターピロリの便中抗原検出、便潜血検査などの体外診断用医薬品や、実験動物用感染症試薬である『モニライザ』を開発、製造しています。

本件に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

わかもと製薬株式会社(担当 開発本部 持田、中野健一) :

TEL 03 - 3279 - 0682 FAX 03 - 3279 - 6450

インビボサイエンス株式会社(担当 高倉、前野) : TEL&FAX 03 - 3715 - 7702